

2025年度業務実績報告書

提出日 2026 年 1 月 5 日

1. 職名・氏名 准教授・北野康

2. 学位 学位 博士、専門分野 経営学、授与機関 大東文化大学、授与年 2021年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 経営組織論Ⅰ（2）2年、経営組織論Ⅱ（2）2年、経営学（2）1年（担当コマ数：1コマ）、基礎ゼミ（2）2年、外書講読（2）2年、演習Ⅰ（4）3年、演習Ⅱ（4）4年
②内容・ねらい ・経営組織論Ⅰ 企業組織とはどのようなものであるかを、組織を構成する三要素（共通の目的、協働意欲、コミュニケーション）の関係性に基づいて講義した。 ・経営組織論Ⅱ 企業組織がどうあるべきかを、リーダーシップ研究とフォロワーシップ研究の知見に基づいて講義した。 ・経営学（経営組織論） 経営組織論の学習内容について講義した。 ・基礎ゼミ プロジェクトX－新・リーダーたちの言葉－（今井，2004）の輪読 ・外書講読 Intrinsic Motivation (Thoms, 2009)の輪読 ・演習Ⅰ グループ研究（前期）、研究成果の発表準備および発表（後期） ・演習Ⅱ 卒論の執筆（前期・後期）
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ・経営組織論Ⅰ 組織を構成する三要素（共通の目的、協働意欲、コミュニケーション）の内容および三要素の関係性について平易に伝えることを意識した。また、講義の節目で小テストを3回実施し、翌週にフィードバックすることで、習熟の質を高めることを実践した。 【ゲストスピーカー0人】 【フィールドワーク0件】 ・経営組織論Ⅱ リーダーシップとフォロワーシップの概要、組織論の中でリーダーシップとフォロワーシップを学習することの意義について平易に伝えることを意識した。また、ゲストスピーカーの講義およびフィードバックをすることで、理論と実践の繋がりが理解できるよう工夫した。

【ゲストスピーカー2人】

【フィールドワーク0件】

・基礎ゼミ

初学の学生でも読みやすい優れたリーダーの事例を集めた書籍をテキストとして使用し、リーダーシップの基礎的な理論の理解を図った。また、学生一人一人が興味を持った章を担当し、担当した章の報告および内容のディスカッションを行うことで、学習効果の向上を意識した。

【ゲストスピーカー0人】

【フィールドワーク0件】

・経営学（経営組織論）

オムニバス形式の講義であるため、経営学における経営組織論の位置づけ、他の専門科目との関連について講義し、次年度以降の履修科目の選択に役立てられるよう工夫した。

【ゲストスピーカー0人】

【フィールドワーク0件】

・外書講読

モチベーション（内発的モチベーション）に関する書籍を使用し、人が内発的に動機づけられるプロセスについて理解を深めた。グループワークと発表を交互に行う講義を実践し、学習意欲の向上を意識した。

【ゲストスピーカー0人】

【フィールドワーク0件】

・演習Ⅰ

前期は、グループ研究を通じて研究の進め方（素朴な疑問の見つけ方、文献調査の方法、RQの設定、モデルの構築と仮説の導出など）の習得を目指し、後期は、学内のゼミコンや他大学との合同研究報告会に参加し、研究スキルが向上するよう工夫した。

【ゲストスピーカー1人】

【フィールドワーク6件】

・演習Ⅱ

前年度に習得した研究方法を活用し、卒業論文が執筆できるよう支援した。また、ゼミ生間で進捗に関する情報を共有し、個別での面談の機会を設けるなど高いモチベーションで卒業論文が執筆できるよう工夫した。

【ゲストスピーカー1人】

【フィールドワーク0件】

(2)その他の教育活動

内容

- ・講師，享栄高等学校，開放講義「地域社会における住民リーダーのリーダーシップとモチベーション」2025年7月。
- ・担当，早稲田大学，国際学生寮 WISH SI プログラム，2025年2月26日～2025年3月1日。

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書 ・Masayoshi Toma, Liejane Kao, Chia-Hui Huang, Kou Kitano, “Perspectives of the SDGs In Taiwan and Japan” (担当:分担執筆, 範囲:Building a Basic Model for the Vacant House Business (pp.127-131)), 五紘舎, 2025 年。	【 1 本】
②学術論文 (査読あり)	【 本】
③その他論文 (査読なし)	【 本】
④学会発表等 ・北野康「地域の力を引き出すー市民活動におけるリーダーシップとモチベーションー」『不死鳥のねがい (福井市市民憲章) 推進協議会研修会』2025 年。	【 1 件】
⑤その他の公表実績	【 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
【学外】 ・「自治会の加入率向上に向けた調査研究事業」『福井県受託研究』2024 年 5 月～2025 年 3 月 ・「公民館活動支援者 (ボランティア) 数の増加に向けた調査研究」『公益社団法人鯖江青年会議所奨学寄付金』2025 年 4 月～2025 年 10 月 ・「ネガティブ効果に着目したエンパワリング・リーダーシップモデルの構築と検証」『日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 (C)』2025 年 4 月～2028 年 3 月	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	

- ・ 2024 年度地域公共政策学会（於：福井県立大学）基調講演コメンテーター，2025 年 3 月。
- ・ 日本マネジメント学会第 91 回全国研究大会（於：和光大学）自由論題報告コメンテーター，2025 年 6 月。
- ・ 日本マネジメント学会第 92 回全国研究大会（於：周南公立だ学）自由論題報告コメンテーター，2025 年 10 月。
- ・ 日本マネジメント学会第 92 回全国研究大会（於：周南公立だ学）実行委員，2025 年 10 月。

5. 地域・社会貢献活動

- ・ 地域創生プログラム「ふくい企業価値共創ラボ」運営メンバー，2025 年。
- ・ 地域創生プログラム「ふくい企業価値共創ラボ」第 11 回講師，2025 年。
- ・ プレカレッジ「部活動における補欠選手のモチベーション」2025 年。
- ・ 高校模擬講義（於：敦賀高校），2025 年。

6. 大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

- ・ DX 委員会，2025 年。
- ・ 経済経営研究編集委員，2025 年。

(3)学内行事への参加

- ・ 入試説明会（丹生高校，2025 年 7 月）。
- ・ 2025 年度オープンキャンパス（高校生向け研究発表，2025 年 8 月）。
- ・ 2025 年度白檜祭（経済学部企画運営，2025 年 10 月）。
- ・ SMAP インターゼミナールコンテスト（福井県立大学，2025 年 12 月）。

(4)その他、自発的活動など

- ・ 大東文化大学経営研究所客員研究員（2022 年 4 月～現在に至る）。
- ・ 台湾 SDGs 協會顧問（2024 年 7 月～現在に至る）。
- ・ 地域公共政策学会理事（2025 年 4 月～現在に至る）。